

## 平成 26 年度 公益社団法人日本地すべり学会東北支部

### 総会・シンポジウムの開催について

平成 26 年度東北支部総会、ならびにシンポジウムを下記の通り開催しました。

#### 1. 支部総会

##### 1.1 概要

- ① 日 時：平成 26 年 4 月 23 日 13:30～14:30
- ② 開催場所：仙台市復興記念館記念ホール
- ③ 参加者数：53 名

##### 1.2 議事

- ① 第一号議案 平成 25 年度事業報告 (→承認)
- ② 第二号議案 平成 25 年度収支決算報告及び会計監査報告 (→承認)
- ③ 第三号議案 平成 26 年度事業計画 (案) (→承認)
- ④ 第四号議案 平成 26 年度収支予算 (案) (→承認)
- ⑤ 第五号議案 役員改選 (→承認)
  - ・ 支部長 千葉則行氏 → 奥山武彦氏
  - ・ 副支部長 橋本芳治氏 (重任)、濱崎英作氏 → 森屋 洋氏
  - ・ 監 事 小杉徳彦氏 (重任)、齋藤春美氏 → 三上登志男氏
- ⑥ 報告
  - 本部開催事業
    - ・ 本部総会、シンポジウム (平成 26 年 6 月 20 日)
    - ・ 第 53 会研究発表会、現地見学会 (平成 26 年 8 月 19～22 日)
  - 第 54 回研究発表会、現地見学会 (山形大会、平成 27 年度実施)



## 2. シンポジウム

### 2.1 概要

#### (1) 趣旨

東北地方ではここ数年で巨大地震に何度も見舞われ、直接的な被害もさることながら地すべりや崩壊など多数発生し、これまで多くの犠牲者を出すとともに生活基盤を根底から覆す甚大な被害を蒙った。とくに本年は 2008 岩手・宮城内陸地震から 6 年、2011 東北地方太平洋沖地震から 3 年を経て、これまで地すべり学会ならびに他学会に所属する多くの研究者、技術者がこれらの調査・研究に参加し、新たな研究手法が試みられるとともに、多くの知見や教訓がそろってきた。

本シンポジウムではこれらの地震地すべりの研究成果を総括するとともに、今後の地すべり学会の地震時の斜面災害に対する取り組み方、社会貢献などについて議論する。

#### (2) テーマ

「東北の地震と地すべり、その知見と教訓」

— 2008 岩手・宮城内陸地震と 2011 東北地方太平洋沖地震を振り返って —

#### (3) 参加者数 109 名

#### (4) キーワード

○地震地すべり、○調査解析手法、○危険度評価、○対策工、○社会貢献

### 2.2 講演

#### (1) 基調講演：宮城豊彦教授（東北学院大学）

2008 岩手・宮城内陸地震と 2011 東北地方太平洋沖地震を振り返って

#### (2) 講演 2：若井明彦教授（群馬大学）

FEM 地震応答解析と地すべり発生メカニズムについて

#### (3) 講演 3：梅村順講師（日本大学）

2011 東北地方太平洋沖地震での福島県内火山灰地域で発生した地すべりから得た知見

#### (4) 講演 4：佐藤慎吾氏（株式会社復建技術コンサルタント）

2011 東北地方太平洋沖地震での宅地のすべり変状と対策

#### (5) 講演 5：千葉則行教授（東北工業大学）

2011 東北地方太平洋沖地震での松島湾での斜面崩壊と知見

#### (6) 講演 6：濱崎英作氏（株式会社三協技術/株式会社アドバンテクノロジー）

地すべり発生の分布と地形地質から得た地すべり要因に関する知見

#### (7) 総合討論：林一成氏（奥山ポーリング株式会社）



### 3. 意見交換会

#### 3.1 概要

- ① 日 時：平成 26 年 4 月 23 日 18:00～20:00
- ② 開催場所：ホテルグランテラス仙台国分町（旧ホテルリッチフィールド）
- ③ 参加者数：41 名



以上